

- 【日 時】 平成 26 年 3 月 26 日
【訪問先】 六浦中学校 半澤俊和校長先生
【概 要】 児童数 425 名 15 学級 各学年 4 学級（3 年生のみ 5 学級）
特別支援学級 2 組 職員数 29 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『得意は淡然、失意は泰然』

2、英語・国際教育の取り組み

日本語が不自由な子はいない。保護者が日本語を話せない場合、手紙は難解な漢字をひらがな表記にすることで対応している。現在、願書の簡素化を市に求めている。

3、地域のボランティアの協力

図書ボランティア、読み聞かせボランティア、フローリストボランティア(学校内の花壇の整備などを行う)などがある。部活動支援会は、顧問の先生への遠征時の交通費の支給や、運動系の部活へのスポーツドリンクの支給を行っている。学区内の小学 6 年生を招待して毎年開催している餅つき大会があり、今年は大雪だったが、地域・PTA・生徒・職員が団結することで無事実行された。また総合的な学習の授業の一環として、全校生徒が地域の祭りに参加している。

4、地域との防災の取り組み

総合防災訓練には、地域の関係者・区役所・消防団・水道局・PTA 役員・保険安全委員会生徒 15 名・職員 10 名など、とても多くの人々が参加している。また地域防災拠点運営委員会による DIG 訓練 (Disaster Imagination Game) には、運営委員約 80 名が参加している。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

六中6つの「あ」として、「あいさつ」「当たり前前生活」「相手意識」「安全」「安心」「新たな自分作り」を掲げ、よりよい学校生活のための目標としている。

6、体力強化や部活動の取り組み

体育祭でクラス対抗大縄跳びがあり、本番前 2~3 週間は朝の 20 分間練習が行われる。

7、学校組織の強化・人材育成

生徒会本部役員との話し合いを重ねることで、子供たちの自主的な活動も取り入れたいじめ防止の基本方針を作成した。六浦中学校にとっても長い間勤めている先生が多い。

8、その他

地域の学校教育に 30 年以上関わっている人がおり、今でも地域の教育力向上に向けてサポートしてくれている。



【所感】

六浦中学校に長い間勤めている先生が多く、かつ学校教育に長年携わっている地域の方がいるので、学校と地域とのつながりがとても強いように感じられた。地域ボランティアも多く、まさに地域と支え合いながら学校が運営されている様子がうかがえた。